別記様式（その１）

教員個人調書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ |  | 性別 |  | 生年月日(年齢) | 　　　年　　月　　日(満　　歳) |
| 氏　　　名 |  |
| メールアドレス及び連絡のとれる電話番号 |  | 現住所 |  |
| 担当授業科目 |  |
| 学歴 |
| 年　月 | 事項 |
| 年　　月年　　月年　　月 |  |
| 職歴 |
| 年　月 | 事項 |
| 年　　月年　　月年　　月 |  |
| 学会及び社会における活動等 |
| 現在所属している学会 |  |
| 年　月 | 事項 |
| 年　　月年　　月年　　月 |  |
| 賞　　　　　　　　　　罰 |
| 年　月 | 事項 |
| 年　　月年　　月年　　月 |  |
| 現在の職務の状況 |
| 勤務先 | 職名 | 学部等又は所属部局の名称 | 勤務状況 |
|  |  |  |  |
| 任用後の職務の状況 |
| 勤務先 | 職名 | 学部等又は所属部局の名称 | 勤務状況 |
|  |  |  |  |
| 備　　　　　　　　　　考 |
| 年　月 | 事項 |
| 年　　月 |  |
| 上記のとおり相違ありません。　　令和　　年　　月　　　日氏名　　　　　　　　　　　印　 |
| （注）１　下段の「氏名」は，本人が自署し押印すること。ただし，外国人で印鑑を有しない者については，押印を省略することができる。 |

教員個人調書(履歴書)の作成について

Ⅰ　教員個人調書　別記様式（その１）

１．「生年月日（年齢）」の欄の年齢には，当該採用・昇任時における満年齢を記入してください。

２．担当授業科目について

　　採用後、本学で担当される予定の授業科目を記入して下さい。

３．「学歴」の欄について

　①　大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む）を有する場合，全ての学歴（授与された学位及び称号を含む）を記入し，それ以外の場合には，最終学歴を記入してください。なお，博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には，「博士課程単位取得後退学」と記入してください。なお，学位の専攻分野については，授与された時期によって表記が異なりますので，正確に記入してください。

　②　学位については，付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。

　③　医師，歯科医師，薬剤師，看護師，教員等の資格についても記入してください。この場合，登録番号等も併記してください。外国における資格にあっては，正確に記入するとともに，その資格の内容を日本語で併記してください。

　④　学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

　⑤　外国の大学等の経歴を記載する場合は，大学等の名称や学位等はアルファベットと片仮名を併記し，国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

４．「職歴」の欄について

　①　すべての職歴（自営業，非常勤~~等~~を含む）を記入するとともに，職名，職位等についても明記してください。

　②　各職歴について在職期間を明確にし，現職については「現在に至る」と記入してください。

　③　研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

　④　過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には，当該審査に係る時期，大学の名称，職位及び担当授業科目の名称（大学院にあっては，判定結果を含む）を記入してください。また，過去における高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には，当該認定に係る時期，高等専門学校の名称，職位及び担当授業科目の名称を記入してください。

　⑤　大学教員の職歴については，主な担当授業科目を併記してください。

５．「学会及び社会における活動等」の欄について

　①　「現在所属している学会」には，採用・昇任時前において所属する学会の名称を記入してください。

　②　学会及び社会における活動等のうち，専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。

　③　教育研究上の業績を有する場合，その内容を具体的に記入してください。

６．「賞罰」の欄には，公的機関，学会，出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分，研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

７．「現在の職務の状況」及び「任用後の職務の状況」の欄について

　①　「現在の職務の状況」

　　ア　「現在の職務の状況」の欄には，採用・昇任時前における職務の状況について記入してください。

　　イ　「職名」については，大学等の教員の場合は，「教授」，「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は，「取締役」，「理事」等の職名を記入してください。職名がない場合は「－」を記入してください。

　　ウ　勤務状況については，大学等の教員の場合は，担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は，職務の内容を簡潔に記入してください。

　②　「任用後の職務の状況」

　　ア　「任用後の職務の状況」の欄については，採用・昇任時以降に，当該大学以外の職に従事する場合に記入してください。

　　イ　常勤，非常勤を問わず，定期的に従事する職については全て記入してください。

　　ウ　他大学等の兼任教員の場合は，「勤務先」に大学名，「職名」に兼任，「学部等又は所属部局の名称」に学部・学科名（全学共通の場合などは適宜わかるような表記），「勤務状況」は週当たりの勤務日数を記入してください。

　　エ　大学以外の業務の場合は，従事する職に応じて実態がわかるように適宜記入してください。

　　オ　「名誉職」のような場合で，定期的な勤務のない場合は記入不要です。

　　カ　記入内容は以下の例を参照し，実態が明確になるように記入してください。

　　　（例）　［勤務先］　　　　［職名］　［所属部局の名称］　［勤務状況］

　　　　　　　　株式会社△△　　　常勤　　　○○サブチーフ　　　４日／週

　　　　　　　　○○弁護士事務所　常勤　　　所長　　　　　　　　３日／週

　　　　　　　　財団法人◇◇　　　非常勤　　理事　　　　　　　　１日／週

８．「備考」の欄には，産前・産後休暇，育児休業及び介護休業等を取得した期間について考慮を希望する場合に記入してください。（性別は問いません。）

９．下段の「氏名」の欄は，本人が自署の上，押印してください。外国人で,印鑑を有さない者については，自署してください。（押印は不要）

　　（作成例）

別記様式（その１）

教員個人調書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | ﾌ　ﾘ　　ｶ　ﾞﾅ | 性別 |  | 生年月日(年齢) | 昭和　年　月　日　（満　歳） |
| 氏　　　名 | ○○　○○ |
| メールアドレス及び連絡のとれる電話番号 |  | 現住所 | 〒０００－００００○○県○○市○○区１丁目１番○○ |
| 担当授業科目 | ○○史、〇〇論 |
| 学歴 |
| 年　月 | 事項 |
| 平成6年　4月平成10年　3月平成12年　3月平成14年　3月平成14年　4月平成17年　3月平成17年　3月 | ○○大学○○学部○○学科　入学○○大学○○学部○○学科　卒業（○○学士）○○大学大学院○○研究科博士前期課程（○○専攻）入学○○大学大学院○○研究科博士前期課程（○○専攻）修了○○大学大学院○○研究科博士後期課程（○○専攻）入学○○大学大学院○○研究科博士後期課程（○○専攻）修了学位取得　博士（○○）、○○大学（文博第〇〇〇号）、「学位論文題目 ： □□□□□□□□□□□□□」 |
| 職歴 |
| 年　月 | 事項 |
| 平成20年　4月平成25年　4月平成25年　9月 | ○○大学○○学部○○学科　助教（平成25年3月まで）△△大学□□学部□□学科　准教授（担当授業科目：□□講義　他）平成26年度博士課程設置に伴う大学設置審議会による教員審査　△△大学，~~准教~~授　 |
| 学会及び社会における活動等 |
| 現在所属している学会 | 日本○○学会、日本□□学会、△△△学会 |
| 年　月 | 事項 |
| 平成20年　4月平成20年10月 | 日本○○学会会員（現在に至る）全国○○協議会会員（平成25年3月まで） |
| 賞　　　　　　　　　　罰 |
| 年　月 | 事項 |
| 平成24年　3月 | 日本○○学会　◇◇◇賞　受賞 |
| 現在の職務の状況 |
| 勤務先 | 職名 | 学部等又は所属部局の名称 | 勤務状況 |
| △△ 大学 | 准教授 | ○○学部□□学科 | ××概論、□□特別演習、□□特別講義 |
| 任用後の職務の状況 |
| 勤務先 | 職名 | 学部等又は所属部局の名称 | 勤務状況 |
|  |  |  |  |
| 備　　　　　　　　　　考 |
| 年　月 | 事項 |
| 平成21年　4月平成22年　3月 | 育児休業開始育児休業終了 |
| 上記のとおり相違ありません。　　令和　　年　　月　　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　○○　○○　　印　 |
| （注）１　下段の「氏名」は，本人が自署し押印すること。ただし，外国人で印鑑を有しない者については，押印を省略することができる。 |